

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利活動法人八王子チャイルドライン

代表者・役職名 氏名 代表理事 木村真実

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

2018年 受け手ボランティア養成講座

2. 実施団体の概要

(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2000年5月全国子どもの日チャイルドラインに受け手として参加する
八王子にチャイルドライン常設に向けて準備
2001年5月全国子どもの日チャイルドラインに八王子チャイルドラインとして参加
2002年3月 週2日(水・土)常設開始
2002年8月 NPO 法人認可
理事 12名 正会員 37名 支援会員 20名

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

子どもが安心して電話をかけられ、何でも言えることで心が軽くなり、子どもの自尊感情が高められ、子ども自身が自分の問題に向き合い解決の糸口を探れるようにするためのライン事業です。子どもの成長に伴走する、つまり子どもの声を聴く力のある大人を養成すること、そして継続するためにそのような人材を増やしていく、そのためのプロジェクトです。親の貧困化が進み、子どもの育つ環境がより厳しくなっている今、子どもの安全が脅かされています。虐待や性被害も増えていますし、SNS やラインの普及により悲惨ないじめも増えています。この現実を考えますと子どもの声を受け止める大人がどうしても必要な時代です。この研修で子どもの様々な対応を学び、寄り添える大人を増やすことを目的としています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

養成講座として10月から3月まで全10回の講義、ロールプレイを行う
講義 1 チャイルドラインについて 2 子どもの現状 3 子どもの権利 4 性について 5 聴くということ
ワーク 1 自分を知るためのワーク 2 電話を受けるためのロールプレイ
5月企画 6月講師依頼 7~9月広報募集

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

結果 10回実施 参加者3名

成果 今幼児から高校生ままで育てている親が我が子の話を聴くことを学びたいと参加し、学べた
性教育が学校教育現場では不十分な中で、子どもの性について学びたい人が学習できた

効果 子どもを取り巻く社会の現状に対し関心が深まり、考える人が増えた

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

このような精神的に努力を要するボランティアには集まりにくい。

どのような内容のプログラムにするか、またどのように宣伝し、広げたら多くの人が応募してくれるかが課題

展望として、まず我が子の話に耳を傾け、ちゃんと聴ける親になりたいと思っている方に向けた講座を考えたい

家庭で親が我が子の話を聴くことを心掛けるだけでも、子どもがホッとできることがとても多いと思います

このような働きかけをして、応募してきて講座を受けた方の中からチャイルドラインの必要性を理解して、チャイルドラインの受け手になろうとして下さる方を増やしていきたい

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

八王子チャイルドライン 2018 年度受け手養成研修

子どもの「聴いて…」を受けとめて



NPO法人チャイルドラインは、電話を通して子ども達の声を受けとめる活動です。子ども達は自分の大切な話をします。悩みを言葉にし私たちが受けとめることで力を取りもどします。電話を受ける受け手となって一緒にこの活動を目指してみませんか。(受け手は無償ボランティアです。また、研修受講時18歳からおおむね55歳までの方をお願いします。)

受け手を希望されなくても「聴く」ことを学びたい方、この活動やプログラムに興味を持たれた方も是非研修にご参加ください。

八王子チャイルドラインのホームページをご覧ください。coccoro.net

●日程 2018年10月20日(土)～2019年2月23日(土)まで全10回

詳しいプログラムは下記を参照下さい

●場所 八王子市 子安市民センター(予定)

●受講料 全回通して7000円 学生6000円(初日、受付にて一括お支払いください)

講座1～5は単独での受講も可能です。一回800円 学生700円

ロールプレイ希望の方は6、7、8回連続受講してください

●問い合わせ 090-4417-3355 (羽田)

●申込み Eメール hachiouji@coccoro.net (裏面の申込み書の内容をお知らせ下さい)

FAX 042-627-1398 (裏面を記入しFAXしてください)

●締め切り 10月10日(水)

受け手養成研修プログラム

※第3回を除き全回午前10時から12時30分までです。

	研修日		研修内容	講師・主催(敬称略)
1	10/20	土	チャイルドラインとは	スタッフ
2	10/27	土	子どもの人権とそれを取り巻く問題 (弁護士の間わりを通して)	伊藤由子 (日野市民法律事務所弁護士)
3	11/8 19時～21時	木	遊びを通して育つ子どもの力 (子どもは自分の力を試して自分を知る)	天野 秀昭 (日本初のプレーリーダー)
4	11/17	土	グループワーク (あなたの当たり前はみんなの当たり前?)	スタッフ
5	12/8	土	思春期の性 (あなたは性のこと話せますか?)	村瀬 幸浩(元一橋大学講師) (“人間と性”教育研究協議会幹事)
6	12/15	土	「聴く」ということ	スタッフ
7	1/12	土	電話のロールプレイⅠ	スタッフ
8	1/26	土	電話のロールプレイⅡ	スタッフ
9	2/9	土	自己開示・気づきのワーク (人生の翻おろし)	スタッフ
10	2/23	土	電話のロールプレイⅢ	スタッフ



